



ポイ捨てをためらう 「美しい」杜へ!!

5月は530（ゴミゼロ）月間です。里山活動で、藪（やぶ）化した林を整備して、ゴミの不法投棄も以前に比べ減ったなあと実感しています。

さて、先日の朝、近所のおじさんが、八幡坂のノカンゾウの後ろにゴミ袋が捨てられているよと教えてくれました。確認に行くと、ノカンゾウの裏の木の下にゴミ袋が2つ置かれています。中には、タケノコの皮がギッシリ詰まっていた。これを見て、ハハヘン、中学校周辺のタケノコを盗掘して証拠隠滅でも図ってチョット離れたここに捨てたかな？と想い、否待てよ、『ノカンゾウ保全中』の看板の裏に置いたのは、この行為を快く思わない確信行為かも知れないとも思いました。まあ動機はどうあれ、この風景は「美しくない」ので、撤去しました。

さて、ゴミのポイ捨てをする人々は、以下のような特徴を持っています。

①責任感の欠如：自分の行動が他人や環境にどのような影響を与えるかを考えず、自己の行動に対する責任を感じない。

②思いやりの不足：他人がどのように感じるかを考慮せず、自分の行動が他人に迷惑をかけることを意に介さない。

振り返れば、「聖人」ではない自分の中にもそれらはあります。大抵の人は、善悪両面を持つ凡人です。行動として現れるかは、誰も見ていないから、他の人もやっているから、忙しいから、面倒だから等々、その時点の状況や環境に因ります。ただ、吉岡の地に暮らしていて、総じて住民は穏やかで規範意識は高いなと常々思っています。この風土が次世代にも引き継がれていくよう、毎日がゴミゼロ運動、里山活動の気持ちで過ごせたらいいなと思いました。ポイ捨てをためらう手入れされた小綺麗な杜、『お天道様』（おてんとうさま）は見ているよと諭（さと）されるような心地よい自然の景色、それが当たり前の日常風景であるように、忙しさに心を忘れることのないよう心がけたい、否、チョットだけ行動したいと思いました。

今年の里山活動は、5月11日（日）に行われた総会からスタートしました。自治会の皆様、立正大学関係者、中学校関係者、PTA、個人ボランティアなど、例年よりやや多い参加者が集いました。堀会長（平塚新田）からバトンを引き継いだ野口新会長（楊井）の下、里山・遊歩道の整備、ヤマツツジの植樹を行います。ご協力よろしくお願いします。

また、今年度の吉中クリーンアップ活動（生徒会主催の学校周辺のゴミ拾い）は、第3水曜日放課後に行うとのことです。活動する中学生を見かけたら、激励の声かけをお願いします。



ノカンゾウ裏のゴミ袋



ゴミ袋の中身タケノコの皮

次回活動日

6月8日（日） 9:00～

里山整備を予定（吉中駐車場集合）

熊谷市HPに掲載中

熊谷市HP→吉岡学校区連絡会のホームページで、カラー版をご覧ください。



「吉岡里山だより」アンケート【回答】

2021年度(R3)の定期総会で、里山の活動を地域の皆様により広く知っていただく為に、広報活動を行うとよいとの意見が出され、「吉岡里山だより」を発行しています。モノクロ版を自治会の回覧板で地域の皆様に広報し、PDFカラー版を公民館と自治会連合会事務局及び希望者に送信しています。公民館や中学校では掲示していただき、中学校の「学校だより」でも里山活動を紹介していただきました。また、「熊谷市HP>校区連絡会活動情報>吉岡校区連絡会」のホームページに掲載されています。

昨年度は、①写真撮影を中学生や大学生に依頼しました。②モノクロ版印刷は中学校のご協力をいただきました。③活動記録と共に、季節感を大切にして、「環境」や「地域」の視点からテーマやエピソードを設定し、新聞記事等を紹介しました。

今までも、皆様の感想や意見、要望やアイデア等(5月号P.4参照)を紙面作りに生かさせていただきましたが、単独作成のため、どうしても「裸の王様」にならないかとの懸念が残ります。発行から4年、その内容や効果、意義等を検証し、今後に生かせればよいと思います。

よりよい里山活動のため、下記のアンケートにご協力ください。

Q1 今後の「吉岡里山だより」発行について、どちらかにレ点を付けてください。

☐ 発行した方がよい 11

☐ 見合わせた方がよい 1

Q2 昨年度「吉岡里山だより」Vol.22～28の感想や意見を記述してください。

・総花的内容に感じます。少しスリム化した公報内容を望みます。

Ans.ご指摘、ご意見ありがとうございます。心に留めて置きます。ただ、地域活動である「里山活動」の意義を環境保全や風土・郷土愛、住民交流等幅広く捉え、それらに関連するテーマやエピソードについて、日々の生活の中、自らの視点で見たり感じたことを伝えたいとの思いがあり、そこに意味があると考えます。独善に陥らないよう留意します。

- ・とても読みやすいです。
- ・写真がよい。わかりやすい。
- ・吉岡の自然がまだ一杯残っているというPRになる。
- ・たくさんの市民に知っていただくよう頑張ってください。
- ・カラーの方が見やすいと思う。
- ・様々な情報が提供され、とても有意義だと想います。
- ・ご苦労様です。有難うございます。
- ・様々な方面からの里山関係紹介、大変勉強になります。
- ・写真が載っていて良かったです。

「吉岡里山だより」を見ないと分からないことばかりなので、大変参考になります。

- ・市HPを拝見、拝読しました。里山のみならず、周辺の自然や生き物、催し、歴史などに触れ紹介されています。

可能な範囲で続けていただき、吉岡の自然の記録としても残していただけたらと思いました。

Q3 本年度「吉岡里山だより」がより良いものとなるよう、要望やアイデアなどを記述してください。

- ・学校メール(テトル)での配信(PDF版)
- ・遊歩道の整備をした方がよいと思う。

Q4 PDFカラー版の送信を希望する方は、宛先・メールアドレスをご記入ください。

ご協力ありがとうございました。



埼玉新聞の記事



2月の活動（焼き芋会）では、小林市長様 と埼玉新聞タウン記者栗原様が視察されました。その後、3月19日付埼玉新聞に掲載されました。3月の活動が天候不良により中止となった為、紹介できませんでした。

ヤマツツジの開花



↑ 立て看板

↓ 八幡神社北側斜面のヤマツツジ

